

# JAGODA

**J A P A N**

**G R A P H I C**

**D E S I G N E R S**

**A S S O C I A T I O N**

**I N C .**

**R E P O R T**

**2 0 0 7**

**N O . 1 8 1**





**群馬**  
地区代表幹事：山壽勝之／会員数：9名

●第18回JAGDAデザインセミナー「Design For Communication ― 最良のコミュニケーションを目指して」日時：2007年3月8日〔木〕13:00～15:40会場：前橋商工会議所講師：左合ひとみ参加費：無料参加者：80名協力：前橋市、前橋商工会議所、群馬県デザイン協会後援：上毛新聞社、群馬テレビ、エフエム群馬、前橋街づくり協議会、群馬県ディスプレイ業協同組合

関連事業「心を包む ふろしき展」会期：2007年3月7日〔水〕～14日〔水〕会場：旧群馬県庁・昭和庁舎2F 第一展示室主催：群馬県デザイン協会協力：JAGDA群馬地区後援：群馬県、群馬県教育委員会、前橋市、前橋商工会議所、高崎商工会議所、高崎市立美術館、各新聞社ほか

群馬県を中心に活動するJAGDA会員+群馬県デザイン協会会員34名のデザイナーによる43点の「ふろしき展」。大好評のうちに終了し、諸団体より巡回予定および作品の販売可否に関する問い合わせを多数頂いた。



**千葉**  
地区代表幹事：林 優／会員数：11名

●菜の花デザインのほり募集主催：東葉高速鉄道(株)、やちよ新川お花畑委員会後援：千葉県、八千代市、ちば観光プロモーション協力：JAGDA千葉地区募集期間：2月28日締切

昨年、やちよ新川お花畑委員会は、千葉県広域公園予定地に市民ボランティアの参加により2万平米のお花畑を造成し、県花“菜の花”を植栽しました。そして今年、その花が一面に咲く“菜の花祭り”が3月1日～31日まで企画開催されます。千葉地区では、県花“菜の花”をモチーフとした“デザインのほり”を一般の方と全国の会員から広く募集。一面に咲きほこる“菜の花”とグラフィックデザイナーによるのほりの“菜の花”のコラボレーションを計画しました。

**神奈川県**  
地区代表幹事：うし／会員数：57名

●湯河原ブランディングセミナー(会員トーク&セミナー)会期：2007年3月29日〔木〕～30日〔金〕会場：フレンチレストラン「エルカン ビス」講師：小針勝文参加費：15,000円(交通費別途)参加者：5名

神奈川県では、会員一人一人の得意分野技術を座談会形式でざっくばらんに紹介する会を開催しています。湯河原のオーベルジュ「エルカン ビス」は、小針勝文氏の会社「(株)ティ・デイ・エス」がブランドを開発。開発に携わった担当スタッフも講師を迎え、よりリアルな内容となりました。セミナー後はレストランで会食。その後、温泉旅館に宿泊しながらの懇親会を行いました。



●小田原スケッチ大会(会員トーク&セミナー)日時：2007年2月19日〔月〕 10:00～17:00講師：諸星和男参加費：無料(交通費別途)参加者：6名梅の美しい季節、小田原・曾我梅園を散策しながらスケッチに親しみました。デザイナーとして普段から筆をとっている会員も、絵画はご無沙汰という会員も、美術分野の仲間として懇親を深めました。

**長野**  
地区代表幹事：中沢定幸／会員数：15名

●JAGDAポスター展：WATER FOR LIFE +長野会員展会期：2006年5月10日〔水〕～14日〔日〕会場：松本市美術館入場者：300名

**新潟**  
地区代表幹事：土肥正弘／会員数：18名

●JAGDA新人賞受賞作家作品展2006会期：2006年9月30日〔土〕～10月9日〔月〕会場：新潟県立近代美術館ギャラリー入場者：1,500名共催：長岡デザインフェア2006実行委員会、JAGDA新人賞展 in 長岡実行委員会協力：クリエイションギャラリーG8、太陽印刷(株)

トークショー日時：2006年9月30日〔土〕11:00～12:30ゲスト：菊地敦己、関本明子、高井薫参加費：無料参加者：80名

会場の県民ギャラリーでのトークセッションは初めての試み。展示会場内にはパイプ椅子100席とプロジェクター&スクリーンを2セット設置、仮説の会場ながら、受賞作家本人と彼らの作品に囲まれながらのトークセッションは、これまでのONE DAY SCHOOLとは異なる、新鮮で臨場感溢れるイベントとなった。また、県民

ギャラリーを利用した展覧会・イベントの新たなスタイルを提案できたと思う。トークの内容も、作品紹介に偏重することなく、自分たちのデザインに対するポリシーや、事務所経営に関わる話に及び、興味深く聞くことができた。

関連事業「JAGDA新人賞受賞作家作品展2006 in 新潟」会期：2006年11月3日〔金〕～16日〔木〕会場：東北電力グリーンプラザ主催：東北電力／共催：JAGDA協力：クリエイションギャラリーG8、太陽印刷(株)

**東京地域**  
地域代表：小島良平／会員数：1,190名●JAGDA新人賞受賞作家作品展2006会期：2006年6月5日〔月〕～30日〔金〕会場：クリエイションギャラリーG8入場者：3,611名共催：クリエイションギャラリーG8

トークショー日時：2006年6月22日〔木〕19:10～20:40ゲスト：佐野研二郎、菊地敦己、関本明子、高井薫参加費：無料参加者：141名

●JAGDA TOKYO 学生の日 2006日時：2006年11月19日〔日〕 13:00～18:00会場：凸版印刷(株) 大会議室内容：リレートーク+作品講評講師：19名／青葉益輝、秋山孝、粟辻美早、安西水丸、太田徹也、菊竹雪、菊地敦己、工藤強勝、小島良平、左合ひとみ、新村則人、関本明子、高井薫、戸田正寿、永井一史、長友啓典、平林奈緒美、福田繁雄、松下計参加費：JAGDA会員・フレンドメンバー無料、学生2,000円、一般3,000円参加者：147名協力：凸版印刷(株)

●第9回亀倉雄策賞受賞展 松永真のウェルネスデザイン会期：2007年3月5日〔月〕～30日〔金〕会場：クリエイションギャラリーG8入場者：3,084名共催：クリエイションギャラリーG8、亀倉雄策賞事務局協賛：(株)日本香堂、大日本印刷(株)、(株)竹尾、(株)中川ケミカル、宝酒造(株)

トークショー日時：2007年3月16日〔金〕19:10～20:40ゲスト：松永真、稲坂良弘〔(株)香十 社長〕参加費：無料参加者：139名

●JAGDA Gifu 2006 Exhibition 春を包む、風呂敷風景展会期：2006年3月25日〔土〕～4月20日〔木〕会場：アクティブG TAKUMI工房デザインギャラリー／入場者：720名



**中部地域**  
地域代表：加藤之敏／会員数：264名

●2006 JAGDA中部地域代表幹事会議日時：2006年10月21日〔土〕15:00～17:00会場：浜松まちづくりセンター 第2研修室

●「岐阜と中部のグラフィックデザイナーによる扇子と和手ぬぐい展」への参加(岐阜地区参照)巡回予定：石川地区2007年5月18日〔金〕～5月31日〔木〕

**富山**  
地区代表幹事：伊藤久恵／会員数：18名

●JAGDA富山ポスターデザイン展2006 GREEN Vol.11 出品者：15名／30点共催：富山ADC後援：北日本新聞社、ポスターの街とやま実行委員会、富山シティFM、FMとやま

会期：2006年7月23日〔日〕～8月10日〔木〕会場：元麻布ギャラリー TOYAMA入場者：200名

会期：2006年8月11日〔金〕～9月10日〔日〕会場：富山県産業高度化センター入場者：200名



**石川**  
地区代表幹事：斉藤慶／会員数：20名

●金沢ペーパーショー2006企画展「奇妙な宇宙作品展」会期：2006年6月9日〔金〕～11日〔日〕会場：石川県産業展示館 3号館出品者：8名／20点入場者：4,500名共催：竹尾ペーパーショー、北陸製販(株)後援：石川県デザイン協議会、石川県ビジュアルデザイン協会、金沢商工会議所ほか

特殊紙を使ったデザインワークで印刷業界、デザイン業界へ新提案を試みると同時にJAGDAの存在を広く知らせることを目指した。今回は特に、製販会社の協力を得て新しい出力方法を試すことができ、その発表の場として機能した。



**岐阜**  
地区代表幹事：内藤淳一／会員数：34名

●JAGDA GIFU 2006 Exhibition 春を包む、風呂敷風景展会期：2006年3月25日〔土〕～4月20日〔木〕会場：アクティブG TAKUMI工房デザインギャラリー／入場者：720名

●岐阜と中部のグラフィックデザイナーによる扇子と和手ぬぐい展―センスのある国「クールジャパン展」会期：2007年3月22日〔木〕～4月16日〔月〕会場：アクティブG TAKUMI工房デザインギャラリー出品者：中部地域会員51名(岐阜23名、愛知9名、三重2名、富山8名、福井2名、静岡5名、石川2名)／和手ぬぐい・扇子各51点入場者：2,771名後援：吉田旗店、友ストア―

今、多くの外国人が日本の良さに注目し、その良さを「クール」と表現しています。今も実用品として愛用されている「和手ぬぐい」と演芸の小道具としても使われる扇子をモチーフにデザインし、クールビスのアイテムとして提案。アンケート評価で、確かな手応えを得ました。

イベント「日本の伝統文化に触れる」日時：2007年3月31日〔土〕15:00～16:30内容：落語家・柳家右太楼による独演会&ウェルカムパーティ参加費：無料参加者：150名

イメージアップと集客を目的に、展示アイテムである和手ぬぐいと扇子を小道具とした落語ライブを展覧会場で実施。会場外にも立ち見が出るほどの大入満員！

**静岡**  
地区代表幹事：加藤之敏／会員数：23名

●JAGDA SHIZUOKA グラバ・トークセッション&デザイナーズ・パーティ日時：2006年11月19日〔日〕16:00～20:20会場：静岡グランドホテル中島屋後援：静岡県広告業協会

1) グラバ・トークセッション時間：16:00～18:00会場：ホテル4F カンファレンスホール講師：黒住政雄、関口裕、池田仁、鈴木利和、藤田寿浩、奈良間茂、佐藤信太郎、大村道彦コーディネーター：甲賀雅章参加費：無料参加人数：250名(一般100名、学生150名)

昨年、静岡県地区で実施したグラバ賞の受賞デザイナー8名を招き、この道を選んだ理由、現在に至る経緯、自分にとってデザインとは何なのか、デザイナーにとって必要なことなどを、作品を通して発表頂いた。

2) デザイナーズ・パーティ時間：18:20～20:20会場：ホテルBF グリル&バー・クロスロード参加費：4,000円参加人数：県内デザイナー約80名

関連事業「マビックグラフィック美術展作品審査」会期：2006年11月15日〔水〕～11月24日〔金〕会場：静岡市視聴覚センター審査日時：2006年11月14日〔火〕応募点数：95点審査委員：加藤之敏、前田ミネネ、星野順啓主催：静岡市教育委員会

県内の高校生、大学生、一般からデジタルで制作した作品を募集し、発表・鑑賞の機会を提供することで静岡市の文化振興を図った。



**愛知**  
地区代表幹事：新家春二／会員数：149名

●JAGDA愛知サンデーデザインスクール2006「Merryなコミュニケーション」日時：2006年7月9日〔日〕13:00～18:00会場：名古屋デザイナー学院内容：講演「Merryなコミュニケーション」、分科会(デザイン相談会6クラス)、パーティ講師：水谷孝次参加費：1,000円(高校生無料)参加者：125名(会員35名、学生90名)後援：専門学校名古屋デザイナー学院、セントラル画材(株)、プロセスユニーク(株)、遠山工芸(株)

●JAGDA愛知「魅せるエコバッグ展」会期：2006年7月26日〔水〕～31日〔月〕会場：国際デザインセンター 4Fデザインギャラリー入場者：200名共催：国際デザインセンター、中部デザイン団体協議会

**滋賀**  
地区代表幹事：山田佳明／会員数：8名●JAGDAポスター展：WATER FOR LIFE会期：2006年7月31日〔月〕～8月6日〔日〕会場：成安造形大学 ギャラリーアートサイト入場者：2,500名共催：成安造形大学後援：滋賀環境ビジネスメッセ実行委員会

水と共に生きる人類が直面する問題を、国際言語のグラフィックデザインによって様々な視点から表現。プロのデザイナーと学生作品より選抜されたポスターを展示し、環境問題について改めて提起・アピール。また、造形大の学生たちが現代日本のポスターデザインを学ぶ貴重な時間として展開。

●JAGDA ONE DAY SCHOOL「地球・環境・デザインの未来」日時：2006年8月4日〔金〕～6日〔日〕10:00～16:00会場：成安造形大学内容：うちわ作り体験参加費：無料

トークショー日時：2006年8月6日〔日〕14:00～16:00講師：青葉益輝、玄世峰参加費：無料参加者：100名

プロのデザイナーの作品やトークを通じて、人・社会に受け入れられる、訴求効果の高いデザインを学ぶ。また、簡単な実技課

題による発想方法等、デザイン制作の基本を楽しみながら身につける。学生にとっては、普段の講議と異なりデザインがより身近に感じられる時間であった。

**大阪**  
地区代表幹事：杉崎真之助／会員数：240名●JAGDA新人賞受賞作家作品展2006会期：2006年7月10日〔月〕～20日〔木〕会場：平和紙業PAPER VOICE入場者：450名

トークショー日時：2006年7月7日〔金〕18:00～19:30講師：菊地敦己、関本明子、高井薫参加者：100名

●Jagda Osaka Design Learning Exhibition BODY WORK―身体の仕事とその視点―会期：2006年11月20日〔月〕～30日〔木〕オープニングパーティ：初日18:00～20:00会場：平和紙業PAPER VOICE出品者：52名／荒木志華乃、荒木優子、板倉忠則、上田ゲン、梅川修司、江口一政、大野宏二、大平弘、カズ・オオノリ、岡田将和、奥村昭夫、河本文夫、木村泰子、黒田タカシ、小山正、佐藤浩二、佐野千敏、重久毅、嶋高宏、シマダタモツ、清水柗行、JINGORO、杉崎真之助、祐成美代子、鈴木信輔、関和廣、妹尾諫、高田雄吉、高橋善丸、谷勝博、谷岡茂樹、田村隆、ツボイロム、南部俊安、野上周一、初田隆正、福山建二郎、藤田隆、正木茂、真柴マキ、舩田忍、増永明子、松井桂三、松田ゆうき、三木健、村山利幸、森敬典、森夕里子、山下文朗、ヤマモトヒロユキ、吉澤智華、リトウリダ入場者：320名協賛：アサヒ精版印刷(株)、サントリー(株)協力：平和紙業(株)

「BODY WORK」とは整体や車体に関して使われる言葉ですが、社会での仕事の骨組みや、デザインの基本的な構造や本質と解釈することもできます。
展覧会は、作者とデザインとの関係を最も明快に表した「仕事1点」とその「本人の解説」で構成し、作品群をシンプルに対比させることで作者の思考のプロセスを垣間見せ、デザインの視点の多様性、可能性を発見できる場となることを意図しました。

BODY WORKスクール日時：2006年11月22日〔水〕18:30～20:30講師：荒木志華乃、シマダタモツ、清水柗行、杉崎真之助、三木健司会・進行：植木啓子(サントリーミュージアム〔天保山〕学芸員)参加費：無料参加者：120名

展覧会空間において学生を中心としたスクールを開催。空間そのものが生の教科書になり、学びの展覧会が完成しました。各デザイン系教育機関からの学生を中心に120名もの参加があり、作家と観客が一体になった雰囲気の中、トークバトルが展開されました。



**和歌山**  
地区代表幹事：岡記生／会員数：10名

●ヒロシマアピールズポスター展会期：2006年11月12日〔日〕～20日〔月〕会場：読売新聞和歌山支局「つれもてギャラリー」入場者：122名



**山口**  
地区代表幹事：上杉浩史／会員数：14名●山口・九州・東京 イラストレーター・デザイナーによる選抜'06ポストカードコレクション in seamall会期：2006年8月1日〔火〕～13日〔日〕会場：シーモール下関 2Fサンパティオ+1Fコンコース出品者：UGサトー、真田彬、新村則人、ベドロ山下、永野宏三ほか主催：ポスコ実行委員会

フリートーク交歓会日時：2006年 8月5日〔土〕 15:00～会場：東急イン参加費：一般1,000円、学生500円主催：ポスコ実行委員会後援：JAGDA、シーモール下関専門店街

●JAGDA山口地区ホームページ制作中

**香川**  
地区代表幹事：ヤノマサヒコ／会員数：14名

●「JAGDA IN K@GAWA 2006」日時：2006年6月10日〔金〕～11日〔土〕会場：サンポートホール高松ほか後援：香川県、高松市、高松市文化芸術財団ほかマスコミ各社協賛：大日本印刷(株)、(株)電通、凸版印刷(株)、(株)中川ケミカル、(株)博報堂、(株)モリサワ協力：カンブラ工業(株)

1) リレートーク「波がつなぐ美の力」日時：2006年6月10日〔金〕17:00～18:45会場：サンポートホール高松・第1小ホール講師：第1部／竹内守善(香川県地域振興アドバイザー)×藤本誠第2部／山田脩二(写真家／淡路瓦師)×中西元明第3部／白川洋二(猪熊弦一郎現代美術館副館長)×福田繁雄×平野遼太郎参加費：無料／参加者：277名共催：(財)日本産業デザイン振興会後援：四国経済産業局

2) ウェルカムパーティ日時：2006年6月10日〔金〕19:00～20:30会場：サンポートホール高松・第2小ホール参加費：一般5,000円、会員4,500円、学生2,000円／参加者：243名

3) エクスカーション
A：6月10日〔土〕イサム・ノグチ庭園美術館
B：6月11日〔日〕ベネッセアートサイト直島
参加者：計110名

●JAGDA ONE DAY SCHOOL in 穴吹デザインカレッジ
日時：2006年6月9日〔金〕10:30～18:00
会場：香川県県民ホール・多目的大会議室、穴吹デザインカレッジ
講師：講演／福田繁雄
対談／佐藤卓、服部一成
ワークショップ／植木誠（鳥取）、佐藤卓（東京）、中村忠司（岡山）、縄田健次（広島）、藤本誠（香川）、服部一成（東京）、宗像陽明（愛媛）
参加者：講演・対談351名、ワークショップ216名
共催：香川県デザイン協会
特別協賛：穴吹デザインカレッジ
後援：香川県、高松市、丸亀市、高松市文化芸術財団、四国経済産業局

●G・デザイナーが創る「丸亀うちわ」FUNFAN展
出品者・点数：71名／78点（FUNFANうちわ71点+007うちわ7点）
共催：香川県デザイン協会、香川県うちわ協同組合連合会
後援：四国経済産業局

会期：2006年5月25日〔土〕～7月25日〔木〕
会場：かがわプラザ
入場者：10,000名

会期：2006年5月27日〔土〕～2007年3月31日〔土〕
会場：うちわの港ミュージアム

●FUNFAN展－グラフィックデザイナー71・丸亀うちわ－
会期：2006年8月16日〔水〕～9月11日〔月〕
会場：松屋銀座7F デザインギャラリー-1953
主催：日本デザインコミッティー
協力：JAGDA、香川県、香川県デザイン協会、香川県うちわ協同組合連合会



**高知**
地区代表幹事：高橋和夫／会員数：8名

**関連事業**
●高知スタンダードセミナーおよび研究会発足
日時：2006年11月10日〔金〕
会場：高知ちばさんセンター研修室
参加人数：50名／後援：JAGDA

県内のカメラマンが主体となり、デジタルワークフローの問題点や現状を認識し、お互いのスキルアップと標準化を目指す「高知スタンダードセミナー」を開催。特別講師による基調講演のあと、ディスカッションではカメラマン、デザイナー、印刷会社、製版会社などからさまざまな疑問点や問題が提起され意見交換を行った。カメラマン（RGB）とデザイナー（YMCK）でのデジタル認識の相違、デザイナーの知

識不足、ハード面の投資を踏まえた問題、アウトプットの問題（CS2など未整備の環境にどう対応するか）などの課題を把握することができた。今後も継続して研究会を開催する予定。

**福岡**
地区代表幹事：武永茂久／会員数：67名
●JAGDA福岡 POSTER Exhibition 2006 [FUKUOKAN CONCEPT]（福岡コンセプト）
会期：2006年7月13日〔木〕～18日〔火〕
会場：福岡アジア美術館 8F交流ギャラリー
出品者：福岡会員有志34名+学生有志20名
入場者：550名

隔年で開催しているポスター展。テーマは「FUKUOKAN CONCEPT（福岡コンセプト）」。世界に、アジアに、日本に、発信するにはまず自分たちの足場となる文化を照らすところから……前回の「日本人」よりさらにミニマムなテーマですが、自分たちを育てくれた伝統・文化を模索・確認し、そこから生まれいずるコンセプトビジョン（継承していくべきもの、逆に変えていかなければいけないものなど）を示そうという試みです。背景として、ニューヨーク発のニュースに、世界の地方都市の中で一番活力あるのはFUKUOKAである —— 経済・人口増・都市化が理想的に進んでいる —— というものがありました。人・モノ・カネがバランスよく混ざり合って活性化していることなのでしょうか。福岡のあり方・立ち位置を、改めて考える必要性を強く感じます。出品者それぞれの福岡に対する想いが、来場者550名余のそれぞれのコンセプト構築に一石を投じることとなり、福岡の未来を考える一助になったのではないでしょうか。
展覧会の図録は、フリーペーパーになっており、今も広く市民一般に配布されています。手に取った方々それぞれの「福岡んコンセプト」を考えていただくきっかけになれば幸いと思っております。また、期間中同会場にて、青葉益輝副会長を迎えデザイン塾を開催しました。ワークショップ形式で、対象としていた学生だけでなく、福岡会員にとっても大変有意義な授業となり、テレビ報道等に取り上げられるなど盛況のうちに終了しました。

**青葉益輝デザイン塾**
日時：2006年7月15日〔土〕
会場：福岡アジア美術館 8F交流ギャラリー

●デザインスクールキャラバン「LOHASな僕らのアート」（廃材でつくる箱の中の博物館）
日時：2006年10月19日〔木〕8:30～
会場：福岡市立南当仁小学校　5年3組
※FUKUOKAデザインリーグの一環として開催



●「市民とともに福岡の景色を考える」景観フォーラム「屋外広告物と景観まちづくり」
日時：2006年11月2日〔木〕
会場：九州大学およびUSIの大橋サテライト

〔LUNETTE〕
基調講演：「屋外広告物と景観まちづくり」武山良三（富山大学芸術文化学部教授）
参加者：45名
※FUKUOKAデザインリーグの一環として開催

福岡市都市景観賞20周年の一環としてFUKUOKAデザインリーグ事業として参加。日本サインデザイン協会、日本商環境設計家協会、日本建築家協会、デザイン都市を創る会と共同でワースト景観箇所を選定。博多駅地区の大型カメラ店の屋外広告物や天神大丸南側の景観等、福岡市を代表する5つの場所について、各団体ごとにCGを使って新しい景観をプレゼンテーションしました。JAGDA福岡地区は、博多駅の大型カメラ店の外観デザイン案を担当。会場の参加者とともに、福岡の景観のあり方について、ディスカッションを行いました。

●オリジナル年賀状販売
販売期間：2006年11月下旬～2007年1月上旬（売り切れ次第終了）
販売場所：インキューブ4F 年賀状特設コーナー
参加会員：15名
デザイン数：1人あたり3点（トータル45種類）
販売価格：630円（4枚セット税込）
ギャランティ：なし（デザインした年賀状を1デザインにつき20枚）

地元有名文具ショップ「インキューブ」の依頼で、JAGDA福岡地区によるオリジナル年賀状の販売を行いました。デザイン費の出ない企画で、参加の是非が議論になったのですが、デザイナーとの接点がない企業（インキューブ）とのつながりができるとや、市民に向けJAGDAをアピールできるというメリットを考え参加しました。

●第6回デザイン夜斬「モノの本質を探るゲスト」
日時：2007年3月23日〔金〕
会場：博多百年蔵（壺式蔵）
ゲスト：森本千絵、岩野俊郎（到津の森公園園長）、タニー・ホリデイ（音楽家）
参加費：一般4,000円、学生2,000円
参加者：75名

デザインを肴に、グラスを傾けながら「デザインやデザイナーの仕事のこれから」を熱く深く楽しく語り合う、来場者参加型トークショー。今回は、アートディレクター森本千絵氏を中心に、異業種のお二方、到津の森公園の園長の岩野俊郎氏と音楽家タニー・ホリデイ氏を招いて開催しました。森本流広告コミュニケーションのあり方に対して、社会（地域）に貢献できる動物園の存在意義（本質）を探求し続けている岩野園長の考えや行動、同じコミュニケーションでも音楽家として一瞬のライブ感や大勢の人との一体感（時間の共有）をより重要視するタニー氏……などなど、ユーザビリティやエコロジーに根ざす仕事へのアプローチを熱く語り合っていました。その中から見てきた「モノの本質」を、来場者それぞれが感じ取ったのではないのでしょうか。

●第9回FUKUOKAデザイン界大望年会2006「DESIGN YATAI」
日時：2006年12月4日〔月〕
会場：ホテル　イル・パラッツォBIF　クロッシング・ホール
参加者：300名
福岡のデザイン界が一堂に集まり、来年に大いに望みを託す、第9回福岡デザイン界合同大望年会。参加者（各デザイン協会・

学校・行政機関・企業）による恒例のデザイン屋台は、20店舗。ホテルのホール一面が一夜限りのデザイン屋台街と化す中、JAGDA福岡地区はデザイン屋台準大賞を獲得しました。デザイナーの仮装イベントや、恒例の抽選会など、ゲストのインテリアデザイナー内田繁氏を交え大いに盛り上がりました。

●福岡県西方沖地震から学ぶプロジェクト報告書発行
2005年3月20日に発生した福岡県西方沖地震を契機に、FUKUOKAデザイナーリーグが始めた「福岡県西方沖地震から学ぶプロジェクト」。2006年3月19日には大名校区自治連合会と「みんなで考える、大名地区の災害対策」の集い」を共同開催し、デザイナーの立場から防災に関する6つの提案を発表しました。その活動をまとめ、2006年6月、「福岡県西方沖地震から学ぶプロジェクトREPORT 2005」として発行。JAGDA福岡地区は研究プロジェクトにおいて「防災サイン計画」を担当し、全体としてはプランニングや発表ツール・報告書制作などに貢献しました。

**長崎**
地区代表幹事：廣瀬一男／会員数：7名

●2006 JAGDA NAGASAKI「9g」展
会期：2006年9月17日〔日〕～30日〔土〕
会場：長崎ブリックホール
出品者：9名／45点
入場者：300名

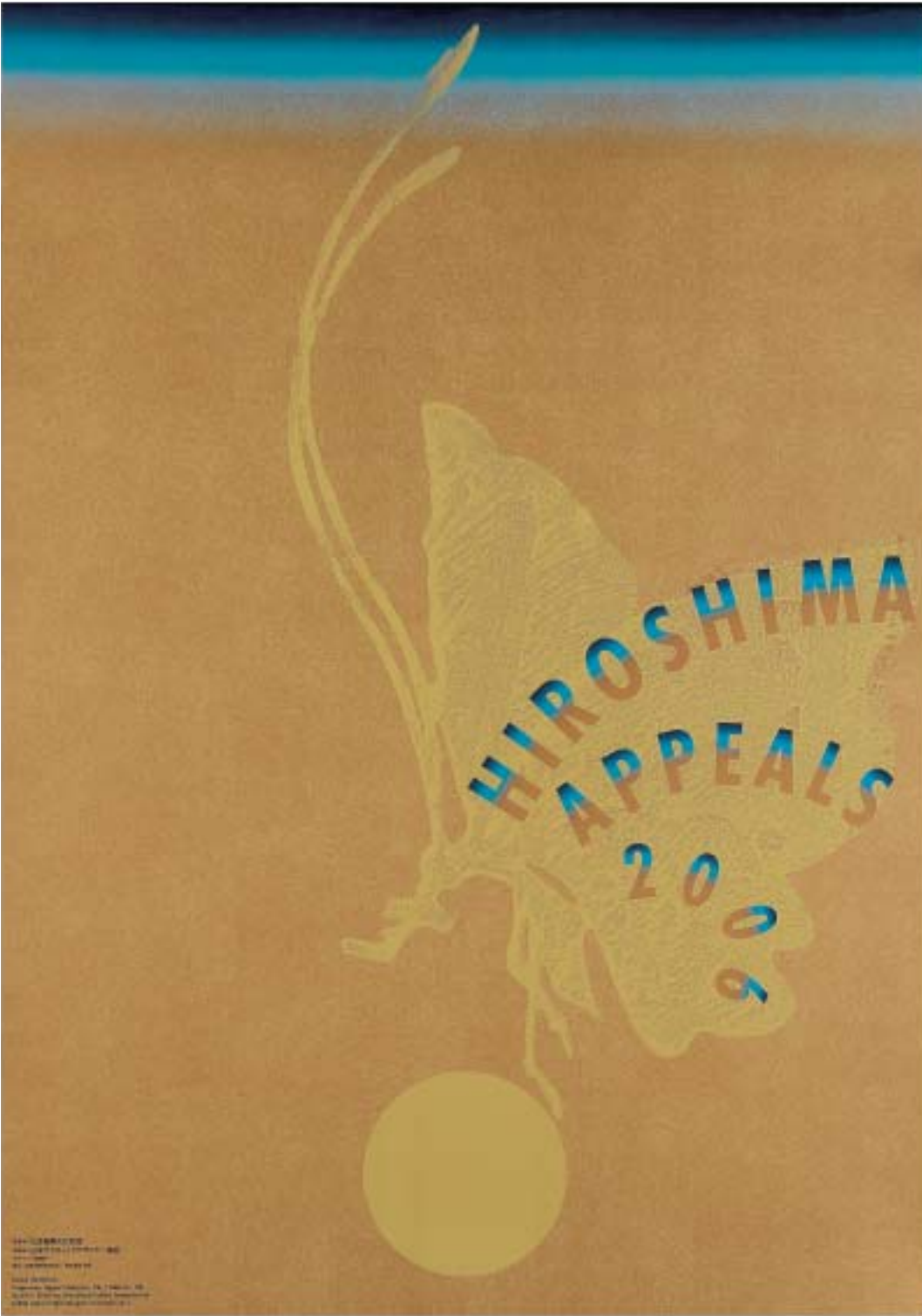
**熊本**
地区代表幹事：岩上孝二／会員数：33名

●JAGDA新人賞受賞作家作品展2006
会期：2006年11月25日〔土〕～12月20日〔水〕
会場：熊本デザイン専門学校1階ギャラリー
入場者：650名

●JAGDA ONE DAY SCHOOL in KUMAMOTO「デザインの新しい風」
日時：2006年11月25日〔土〕13:30～18:00
会場：熊本デザイン専門学校
講師：菊地敦己、関本明子、高井薫
参加費：学生3,000円（高校生以下2,000円）、一般4,000円、JAGDA会員・フレンドメンバー無料
参加者：189名（一般22名、学生148名、招待9名、会員ほか10名）
後援：マスコミ各社
協賛：18社
協力：熊本デザイン専門学校



●JAGDA熊本地区会報「DE VIEW」Vol. 4
発行日：2006年10月1日〔日〕
体裁：A2八つ折
発行部数：5,000部
配布先：熊本県内の中学・高校約290校、芸術系専門学校・大学、一般広告主、熊本現代美術館など
協力：平和紙業（株）



第9回 2006年度 ヒロシマ・アピールズポスター 「黄金の蝶」佐藤晃一

**広島**
地区代表幹事：納鳥克宗／会員数：31名

●「ヒロシマ・アピールズ」ポスター2006年版制作タイトル：「黄金の蝶」
制作者：佐藤晃一
制作枚数：2,000枚／価格：1,050円（税込）
配布先：広島市、世界市長会議、広島教育委員会および各区教育機関、広島医師会、平和団体等
共催：（財）広島国際平和財団
協力：凸版印刷（株）、（株）竹尾

制作者コメント：
古代の人々はチョウを死者たちの復活再生したもの信じていたようです。あの硬いサナギの中から大きく美しい羽根をもった虫が出現し、宙を舞う姿は、今日の私たちにも神秘的なものです。広島に投下さ

れた原子爆弾によって亡くなられた多くの人々、また世界中の争いによって傷つき死んでいった実に多くの人々のことを想い、今日の平和の危うさを感じながら、私の祈りとして、今回のヒロシマ・アピールズのポスターをデザインいたしました。ポスターの上部にある青いグラデーションは浮世絵の風景版画から引用しましたが、画面のほとんどを金地とすることで、そこ



が天界であり広島や世界の犠牲者が美しいチョウとして復活している構図としました。このチョウの形は「光悦本」とか「嵯峨本」と呼ばれる桃山から江戸初期の出版物などで使われたパターンで、私の好きなものです。HIROSHIMA APPEALS 2006の文字は復活した羽根に現れた魂のメッセージとして表現しました。またチョウが守ろうとしている玉は私たちの心の中の平和を願う想いであり、同時に我々の星、地球でもあります。全体としては金色の中に金色のチョウを埋め込むことで祈りの深さを視覚化できないか、と考えたものです。浮世絵と光悦本という日本の伝統的な版画を組み合わせて現代の日本のポスターとし、単純な構図ながらカトリックや密教の美的観点からも明らかだろう。」
西村先生は琉球芸術に対する造詣も深く、沖縄のデザイナーにとって、地域の芸術的なだけきたいと思っています。（佐藤晃一）

●「ヒロシマ・アピールズ・ポスター2006」発表記念 ヒロシマ平和ポスター展「PEACE FOR PIECES」
会期：2006年8月2日〔金〕～9日〔日〕
会場：旧日銀広島支店跡地〔被爆建物〕
入場者：3,600名
共催：（財）広島国際平和財団
協力：（株）中本本店、ピカソ画廊、（株）みづま工房
後援：穴吹デザイン専門学校、広島芸術専門学校、広島コンピュータ専門学校、広島市立大学、比治山大学

歴代の「ヒロシマ・アピールズ」ポスター8作品に2006年版を加えた9作品と、JAGDA広島地区会員の作品、地元デザイナー学生の作品で構成、総数約70点を集めて展示した。



**沖縄**
地区代表幹事：岸本一夫／会員数：12名

●講習会「琉球王国の美意識・首里城の独自性」
日時：2006年11月9日〔木〕
会場：那覇市IT創造館 4F会議室
講師：西村貞雄（琉球大学教育学部教授）
参加者：13名（会員10名、フレンドメンバー1名、一般2名）

沖縄地区では、毎月第二木曜に会合を行っています。2006年11月の会合では、琉球大学教育学部教授の西村貞雄先生を招き、沖縄地区会員向けの講習会を実施しました。西村先生は彫刻の専門家で、首里城再建事業の際に、本殿の装飾である大龍柱の再建を担当されました。大龍柱は、フィギュアで販売されるなど首里城関連意匠としては人気の彫像。スライドに加え、大龍柱の模型や詳細な資料を持参下さり、大龍柱を巡る、再建にあたってのご経験と、歴史考証、琉球デザインの特徴を考えるなどのお話となりました。「琉球処分の後、琉球王家不在となり、首里城は廢墟となっていた。日本軍の将校などが、首里城の一部を別の建築の資材に使ったり、記念に持ち帰るなどして、残っている写真でも大龍柱の向きや長さが異なる。首里城を再建するにあたっては、戦前の資料が少なく、限られた写真資料や文献、また中国などの類似施設と比較した上で、本来の姿を想定することにいった。

大龍柱の造形を担当した際に、独自の研究から正面を向くことを提案したが、戦前、日本軍が根拠なく改変した後の写真が根拠となり、歴史考証責任者の決断をもって、正殿の階段を挟んで向き合う向きに建造された。しかし、古典文献や中国の類似史跡を参照すると、正面を向くのが本来の姿であることが明らか。正面を向くことで、首里城の本来の目的である、海外の賓客へのもてなしや琉球王国の威勢が表現されることが、美的観点からも明らかだろう。」
西村先生は琉球芸術に対する造詣も深く、沖縄のデザイナーにとって、地域の芸術的な一側面を学ぶ刺激的な講習となりました。

社団法人 日本グラフィックデザイナー協会/JAGDA

〒107-6205 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー 5F

Tel: 03(5770)7509 / Fax: 03(3479)7509

e-mail [jagda@jagda.org](mailto:jagda@jagda.org) URL <http://www.jagda.org>

印刷協力: 望月印刷株式会社

用紙協力: 株式会社 竹尾 / 特種製紙株式会社

用紙: ミセスB クリアホワイト 菊判Y目 93.5kg

© 2007 Japan Graphic Designers Association Inc. 20070731